

事業名	(23) 心のバリアフリー、ユニバーサルデザインの普及啓発事業
担当課	福祉総務課

■取組内容

2017年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校生徒へのバリアフリー啓発出前授業（1件） ・中央図書館にて「心のバリアフリー」特集コーナーを設置（スポーツ振興課のparasportsとコラボ） ・新人職員、一般職員を対象とした心のバリアフリー研修
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校生徒へのバリアフリー啓発出前授業（1件） ・新人職員を対象とした心のバリアフリー研修
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館にて「心のバリアフリー」特集コーナーを設置 ・新人職員を対象とした心のバリアフリー研修
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館にて「心のバリアフリー」特集コーナーを設置 ・新人職員を対象とした心のバリアフリー研修 ・福祉のまちづくりに関する市民アンケートの実施 ・「障がい者等用駐車区画利用カード」の作成 ・「町田市福祉のまちづくり総合推進条例整備基準等マニュアル」において、施設整備における「ソフト面の工夫」の記載内容の充実化

■評価結果

評価項目	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	評価	具体的内容	評価	具体的内容	評価	具体的内容	評価	具体的内容
プロセス評価	1 意見収集	十分ではないが設けた 今年度は、庁内職員や小学生を対象に研修を行った。職員へはアンケート調査を実施した。	十分ではないが設けた 庁内職員や小学生を対象に研修を行った。職員へはアンケート調査を実施した。	十分ではないが設けた 新規採用職員向けに研修を行い、アンケートを実施した。	十分ではないが設けた 新規採用職員向けに研修を行い、アンケートを実施した。	十分設けた 新規採用職員向けに研修を行い、アンケートを実施した。	十分設けた 新規採用職員向けに研修を行い、アンケートを実施した。	十分設けた 新規採用職員向けに研修を行い、アンケートを実施した。 ・福祉のまちづくりに関する市民アンケートの中で、「心のバリアフリー」に関する認知度やご意見を調査した。
	2 意見反映	十分ではないが反映されている 職員からの意見・感想などを取り入れながら、資料や講義内容を改善している。今年度は、合理的配慮の内容を充実させるため、障がい福祉課作成の資料を活用したほか、職員同士のペアワークを取り入れた。	十分ではないが反映されている 職員からの意見・感想などを取り入れながら、資料や講義内容を改善している。	反映する意見がない 職員からの意見や感想を取り入れながら、講義内容を改善している。今年度は特に意見がなかった。	反映する意見がない 職員からの意見や感想を取り入れながら、講義内容を改善している。今年度は特に意見がなかった。	十分ではないが反映されている 職員からの意見や感想を取り入れながら、内容を改善する。 ・市民アンケートの結果を踏まえ、今後の施策に反映できるように、検討を進める。	十分ではないが反映されている 職員からの意見や感想を取り入れながら、内容を改善する。 ・市民アンケートの結果を踏まえ、今後の施策に反映できるように、検討を進める。	十分ではないが反映されている 職員からの意見や感想を取り入れながら、内容を改善する。 ・市民アンケートの結果を踏まえ、今後の施策に反映できるように、検討を進める。
	3 関係機関連携	十分ではないが連携している 出前講座では、障がい福祉課と連携し、庁舎内のバリアフリー見学を行った。対象は小学生だったが、職員への啓発にもなったと思われる。中央図書館での特集コーナーでは、スポーツ振興課と連携し、parasportsと、心のバリアフリーについて啓発を行った。人権週間では、福祉総務課人権担当と、まちカフェでは、市民協働推進課及びNPO町田ハンディキャプ友の会と連携をした。	十分ではないが連携している 出前講座では、交通事業推進課、道路維持課と連携し、町田第五小学校でバリアフリー研修を行った。	十分ではないが連携している 関係各課と適宜連携を図っている。	十分ではないが連携している 関係各課と適宜連携を図っている。	十分ではないが連携している 関係各課と適宜連携を図っている。	十分ではないが連携している 関係各課と適宜連携を図っている。	十分ではないが連携している 関係各課と適宜連携を図っている。

評価項目	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	評価	具体的内容	評価	具体的内容	評価	具体的内容	評価	具体的内容
プロセス評価	4 広報・PR	十分ではないが広報・PRしている 啓発冊子をホームページに掲載しているほか、市内小学校4年生を対象に配布している。また、人権週間に開催した人権パネル展での配布も行い、周知を図った。	十分ではないが広報・PRしている 啓発冊子をホームページに掲載しているほか、市内小学校4年生を対象に配布している。また、人権週間に開催した人権パネル展での配布も行い、周知を図った。	十分ではないが広報・PRしている 啓発冊子をホームページに掲載しているほか、市内小学校4年生を対象に配布している。また、人権週間に開催した人権パネル展での配布も行い、周知を図った。	十分ではないが広報・PRしている 啓発冊子をホームページに掲載しているほか、市内小学校4年生を対象に配布している。また、人権週間に開催した人権パネル展での配布も行い、周知を図った。	十分ではないが広報・PRしている 啓発冊子をホームページに掲載しているほか、市内小学校4年生を対象に配布している。また、人権週間に開催した人権パネル展での配布も行い、周知を図った。	十分ではないが広報・PRしている 啓発冊子をホームページに掲載しているほか、市内小学校4年生を対象に配布している。また、人権週間に開催した人権パネル展での配布も行い、周知を図った。	十分ではないが広報・PRしている 啓発冊子をホームページに掲載しているほか、市内小学校4年生を対象に配布している。また、人権週間に開催した人権パネル展での配布も行い、周知を図った。
	5 工夫・改善	十分ではないが工夫・改善している 小学生への出前講座で、これまでは、福まち担当の職員が中心に話をするスタイルが多かった。施設内を歩くような内容(バリアフリー設備の見学など)は、担当者一人が行うのではなく、複数の職員を巻き込むと良い。事前に打ち合わせを行う必要はあるが、職員への啓発、意識の向上にもつながる。	十分ではないが工夫・改善している 小学生への出前講座で、これまでは、福まち担当の職員が中心に話をするスタイルが多かった。施設内を歩くような内容(バリアフリー設備の見学など)は、担当者一人が行うのではなく、複数の職員を巻き込むと良い。事前に打ち合わせを行う必要はあるが、職員への啓発、意識の向上にもつながる。	十分ではないが工夫・改善している 小学生への出前講座で、これまでは、福まち担当の職員が中心に話をするスタイルが多かった。施設内を歩くような内容(バリアフリー設備の見学など)は、担当者一人が行うのではなく、複数の職員を巻き込むと良い。事前に打ち合わせを行う必要はあるが、職員への啓発、意識の向上にもつながる。	十分ではないが工夫・改善している 職員からの意見や感想を取り入れながら、講義内容を改善している。	十分ではないが工夫・改善している 啓発冊子の内容更新を視野に入れ、他市の啓発資料等の情報収集を行った。		

評価項目		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
6 実績評価	進捗状況	目標通り進んでいる	目標より遅れている	目標より遅れている	目標通り進んでいる
7 効果評価	市民の満足	十分ではないが満足されていると思う	まだ満足できる成果が発生していない	不明(状況を把握できていない)	まだ満足できる成果が発生していない
	市民の認知	不明(状況を把握できていない)	まだ認知される成果が発生していない	まだ認知される成果が発生していない	十分でないが認知されている

■スパイラルアップの内容

2017年度	小学生など子ども対象とした啓発では、合理的配慮の内容とも重なるため、障がい福祉課とも連携をしていけるとよいと思われる。
2018年度	庁外への普及啓発について、市の福祉関連イベントに参加するなど、すぐに取り組める方法を検討する。
2019年度	庁外への普及啓発について、市の福祉関連イベントに参加するなど、すぐに取り組める方法を検討する。
2020年度	「心のバリアフリー」の認知度向上に向けて、啓発内容・方法の検討を進める。